

四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立中央小学校

校長 南出 かおり

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

地域・保護者とともに協働できる学校にするために様々な視点からの意見や考えを交流しながら、保護者や地域の方々の思いや願いが反映された学校づくりを推進します。

学校づくりビジョンの達成のために様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともに作る学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<学習活動の支援>



○防災学習

みえ防災コーディネーター・三泗ブロックの方を中心に地域の自治会の方にも協力をいただき、4年生が土鍋による炊き出しの体験しました。PTAともタイアップを行い、学年の保護者にもご参加いただく親子活動として位置付けられました。この体験は5年生の自然教室での、野外炊事にもつなげていきます。



○補充学習での指導

夏季休業中の5日間、補充学習に取り組みました。一学期の学習の中で、苦手だったり理解が不十分だったりしたところの復習だけでなく、夏休みに乱れがちな生活リズムを整える意味でも効果的でした。今年度も学習を支援してくれる学生を地域の方からご紹介いただきました。



○戦争体験講話

運営協議会委員長よりご紹介いただき、地域にお住まいの方から、「四日市にも戦争があった ～戦前、戦中、戦後とは～」という題で、6年生にお話を聞かせていただきました。四日市空襲のことをはじめ、戦時中の学校や衣食住について次々と語っていただきました。



○大入道の見学

四日市祭でおなじみの大入道も毎年見学させていただいています。大入道保存会会長から大入道の仕組みや、大入道にまつわる民話を聞かせていただきました。山車の中の様子がよくわかるように組み立てたままおいてもらってありました。子どもたちは、保存会の方々が昔から地域に伝わる大入道を大切に、次の世代に引き継いでいることにも気づいたようです。



○昔の暮らしについて

3年生は地域の方から、昔の暮らしについての話を聞かせていただきました。火鉢、陶器でできた枕や湯たんぽ、炭火アイロン、蚊帳、分銅を使うはかりなど古い道具を学校まで運び、使い方など詳しく説明してくださいました。子どもたちは、珍しい道具を触ったり使ってみたりと、嬉しそうに活動していました。

<地域の伝統の継承>



○太鼓演奏指導

地域伝統の諏訪太鼓。児童にとって「6年生になれば演奏できる」、という憧れの姿でもあります。地域の子供会で毎年練習している児童と、初心者の児童の差もあり、指導は保存会をはじめとする地域の方に頼る部分が大きい活動です。例年運動会が終わったころから練習を始め、その集大成として三泗小学校音楽会で演奏を披露しています。今年は、学校独自で裃をそ

ろえることができ、一層連帯感を高めることができました。

<ボランティア活動>



○登校見守り

子どもたちが安全に登校できるように、地域の方が自主的に見守りを実施してくださっています。

子どもたちも一緒に話をしながら登校するのを楽しみにしているようで、安全を確保していただくだけでなく、日々の子どもの様子についてもお聞かせいただいています。



○図書ボランティア

保護者の方を中心に図書ボランティアとして活動していただいています。図書室の環境整備や読み聞かせだけでなく、さまざまな、楽しい企画を実施していただいています。今年度は、紙相撲をご用意いただき遊び方の紹介もしていただきました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

保護者・地域の方々が、学校教育活動に参加していただく機会が増えることで、連携が深まってきています。見守り活動や、図書室の整備や特技を生かした読み聞かせなどで活躍いただく方も増えてきました。さらに、戦争体験講話を地元の方から直接うかがう機会を得ることもでき、地域の人材発掘も進めていただけました。

地域の様々な行事には多くの児童が参加しています。教育活動外でも多様な目で児童を見守っていただき、児童の気になる行動や環境の変化についてもすぐに情報をいただくことができ、早期対応につながっています。

学校自己評価アンケートについて、保護者の方からは「お子様は学校に喜んで通い楽しく生活できる」「中央小学校の教育に満足できる」という2項目に対し、95%を超える肯定的な評価をいただくことができています。

コミュニティスクールの指定2年目となりましたが、新たに何かを行うというのではなく、地域と様々な形でつながりながら活動してきた従来の実践をより深められるよう心がけました。

3 今後に向けて

従来から、地域と子ども、地域と学校というつながりが大変密接で、地域ぐるみで子供を育てていこうという気風が根強くあります。学習活動や特別活動への支援、登校時の見守りなどの、様々なところで地域と学校が協働する場があり、多くの地域の方に協力をいただけてきました。学校自己評価アンケートにおける「学校は、保護者や地域の人々へ学習を公開したり、地域の人々に教えてもらったりする機会を設けている」の項目に対しては90%を超える肯定的な意見をいただいています。今後も、四日市市の中心部にあり、豊かな人・者・物にめぐまれているという本校の特性を生かした連携の在り方を構築していきたいと考えています。

そのためにも、コミュニティスクールの存在や活動を、地域・保護者により一層浸透させていくことが重要です。今後も、学校便りやHP等で積極的に発信していくことで保護者・地域からの理解が深まり、取組が地域全体のもとして広がり、学校教育に活かしていくことをめざしてまいります。

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立中央小学校
 委員長 中川 政之
 校長 南出 かおり

月	日	協議会の開催	活 動 内 容
4			
5	20 土	第1回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇鑑賞会参観 ・ビジョン承認、活動計画検討
6	9 金	第2回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観および講評
7			
8			
9	23 土		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会参観
10			
11	11 土	第3回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業・秋風音楽会参観および講評
12			
1	20 土	第4回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観および講評 ・来年度の活動について
2			
3	20 火		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式参列